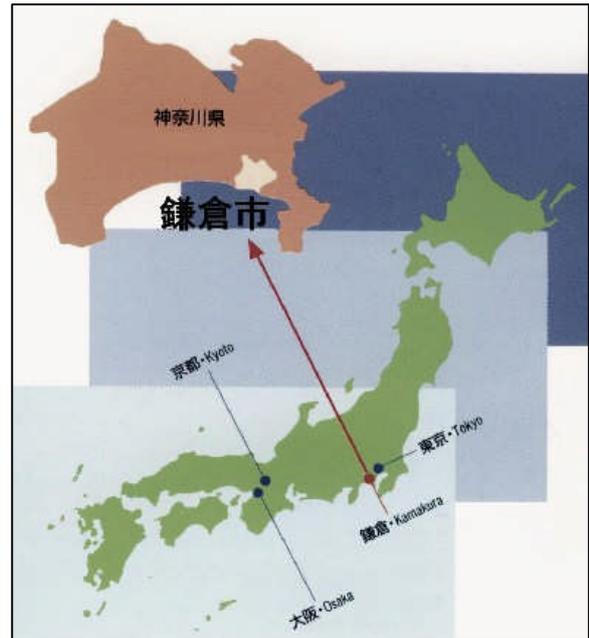


資 料

本市は、関東地方神奈川県南部に位置する、人口約17万3千人の小規模な都市です。東西8.75km、南北5.20km、面積は39.53km²であり、南は相模湾に面し、三方を多摩三浦丘陵群の小高い山々に囲まれた美しい自然環境に恵まれています。

自然の好条件を生かし、1192年に鎌倉幕府が開かれてから、伝統あるゆたかな文化と歴史的遺産が育まれてきました。近代では、急激な宅地造成がすすむ一方で、歴史的風土を守る為に市民運動が高まり、古都保存法発祥の地となりました。このように、鎌倉では環境への関心が高い市民が多く暮らしています。

また、豊かな環境資源に恵まれたため観光都市として栄え、現在では全国世界各地より年間約18,834万人(2009年)もの人々が訪れています。



(1) 気 象

表 8-1 月別平均気温(単位)

(平成19年)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均
鎌倉市	7.5	8.7	10.8	13.6	18.8	22.0	23.7	27.3	24.4	19.0	13.4	9.2	16.5
横浜市	7.3	8.4	10.6	13.5	19.1	22.4	23.8	28.0	24.5	18.7	13.1	8.9	16.5

鎌倉の統計及び横浜市統計ポータルサイトより

神奈川県は気候が温暖で、平地や山地など様々な環境があるために、生物多様性や個体数が豊富だといわれています。鎌倉の気候はその中でも、南に面する海からの影響が大きく、内陸に比べて夏は涼しく冬は暖かい、県下でも気候にめぐまれた地域となっています。また風向きは、夏には南風が、冬には北風が吹く傾向があり、海岸に近い場所では一年中風通しがよいのが特徴です。

表 8-2 気象状況

年	区分	気温()			降水量 総量(mm)	湿度 年平均(%)
		年平均	日最高	日最低		
	平成16	16.7	35.8	-1.5	1,790.0	75.0
	17	15.8	31.7	-1.9	1,278.0	78.8
	18	16.0	31.3	-2.9	1,651.0	80.0
	19	16.5	33.0	-0.8	1,509.0	78.2

鎌倉の統計より

(2) 人口

本市の人口は、昭和30年代後半から40年代にかけて大きく増加しました。我が国の社会経済環境が変化するなかで、昭和50年代以降、本市の人口増加は沈静化し、最近では減少の状態にありました。しかし、平成14年から微増傾向にあります。また、核家族等の世帯数は徐々に増加し、さらに65歳以上の高齢者の割合(高齢化率)は26.0%と、年齢構成のバランスが懸念されます。

表 8-3 人口 (各年10月1日現在)

年	区分	世帯数 (世帯)	人口 (人)	人口の増減 (人)
平成16		68,984	169,866	1,142
17		69,384	171,122	1,256
18		70,540	172,820	1,698
19		71,335	173,263	443
20		72,039	173,439	176

鎌倉の統計より

(3) 産業

本市の産業構成は、第3次産業が一番多く、次に第2次産業、第1次産業となっています。本市の商業の構成は、小売業が占める比率が高く、また観光都市という立地条件から飲食店と食料品小売業の比率が高いのが特徴です。工業は、少数の大規模事業所があるほかに、市全体では小規模事業所が今日では一部の住宅と混在しており、これに対応するために環境の調和を図りながら集団・共同化をめざしていく必要があります。

表 8-4 産業 (平成18年10月1日現在)

年	区分	第1次産業 <農業 林業 漁業>		第2次産業 <鉱業 建設業 ・製造業>		第3次産業 <運輸業 飲食店 ・サービス業など>		総数	
		事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
平成13		2	8	781	14,083	6,504	55,453	7,287	69,544
18		4	18	637	11,817	6,226	54,282	6,867	66,117

鎌倉の統計より

(4) 土地利用

大正時代末期の鉄道の電化、工業の立地、道路整備等により、大船地域などでも市街化が始まり、昭和40年代から首都圏のベッドタウンとして、急激に市街化が進みました。現在は緑豊かな住宅都市となっています。

表 8-5 市街化区域および市街化調整区域

区分	市街化区域	市街化調整区域	総計
面積(ha)	約2,569	1,384	3,953
比率(%)	65.0	35.0	100.0

平成21年9月18日神奈川県告示

表 8-6 用途地域別面積

区分	住居専用地域 第一種低層	住居専用地域 第一種中高層	住居専用地域 第二種中高層	第一種住居地域	第二種住居地域	準住居地域	近隣商業地域	商業地域	準工業地域	工業地域	工業専用地域	計
面積 (ha)	1,294	515	1.7	268	108	23	86	31	77	133	33	2,569
比率 (%)	50.4	20.0	0.1	10.4	4.2	0.9	3.3	1.2	3.0	5.2	1.3	100.0

平成21年9月18日神奈川県告示

(5) 交通の状況

道路交通状況は、横浜横須賀道路、国道1号、国道134号などの広域幹線道路が市の外側または外縁部に位置し、市域を囲んでいます。また、公共交通の状況として、JR、江ノ電、湘南モノレールがあり、市の規模から見ると充実しています。バスのルートは、ほぼ市内の各所をカバーしており、サービス水準は高いものの、交通渋滞等による定時運行の困難さと運行速度の低下、一部の住宅地でのバス利用の困難さ、などが問題となっています。

(6) 財政

本市の財源は、自主財源の割合が大きく、財政的に比較的自立した地方自治体であると言えます。全体のうち市税収入が64.1%を占めていることも大きな特徴です。

表 8-7 一般会計決算額 (歳入)

(平成21年度)

区分	自主財源					依存財源				総額
	市税	及び負担金 分担金	財産収入	諸収入	その他	地方譲与税	交付金交付税	国庫支出金	市債	
決算額(百万円)	35,923	514	292	2,153	4,411	348	2,541	10,103	3,012	59,297
比率 (%)	60.6	0.9	0.5	3.6	7.4	0.6	4.3	17.0	5.1	100.0

表 8-8 一般会計決算額 (歳出)

(平成21年度)

区分	総務費	民生費	衛生費	土木費	消防費	教育費	公債費	その他	総額
決算額(百万円)	11,427	15,461	5,197	8,429	2,619	5,430	5,361	3,132	57,056
比率 (%)	20.0	27.1	9.1	14.8	4.6	9.5	9.4	5.5	100.0

表 8-9 環境対策に係る主な決算概要（平成21年度）

単位：千円

事業名	事業内容	事業費
緑政の経費	都市緑化の推進	322,170
	・緑化啓発事業	
	・街路樹維持管理事業	
	・樹林維持管理事業	
	・緑地保全事業	
	・緑地取得事業	
	・緑地維持管理事業	
	・風致保存会助成事業	
・緑政運営事業		
環境政策の経費	環境基本計画推進事業	30,787
	・環境基本計画の進行管理	
	・環境保全に関する啓発事業	
	・地球温暖化対策に関する事業	
	・かまくらエコアクション21推進事業	
	・住宅用太陽光発電システム設置補助	
・雨水貯留槽設置助成		
減量化・資源化の経費	循環型社会の構築事業	996,853
	・分別収集運営事業	
	・減量化資源化運営事業	
	・植木剪定材堆肥化事業	
・その他		
景観の保全と公園の経費	・都市景観形成事業	1,657,960
	・公園運営事業	
	・公園維持管理事業	
	・公園整備事業	
公害対策一般の経費	公害防止事業	9,685
	・地盤沈下精密水準測量調査	
	・自動車排出ガス等環境調査	
	・河川水質調査	
	・二酸化窒素大気環境調査	
	・有害大気汚染物質調査	
	・深夜花火禁止啓発事業	
	・子ども向け酸性雨調査	
・その他		
合計		3,017,455

表 8-10 かまくら環境白書作成に携わる関係各課の組織図（平成21年度）

経営企画部 ——— 広報課・・・広聴活動、広報紙発行等、地域情報化等

* 世界遺産登録推進担当...世界遺産一覧表への登載の推進等

総務部 ——— 管財課・・・公有財産の総括管理、庁舎の管理等

市民経済部 ——— 市民活動課・・・市民活動の支援、消費生活相談等

観光課・・・観光施策、観光ルートの整備等

産業振興課・・・商工業、農林水産業の振興等

こどもみらい部 ——— 青少年課・・・青少年育成事業、青少年会館事業等

健康福祉部 ——— 市民健康課・・・保健衛生、健康づくりに関する総合計画、調整及び推進等

環境部 ——— 環境政策課・・・環境政策等

資源循環課・・・廃棄物の清掃事業の計画・調整等

環境施設課・・・一般廃棄物処理施設の整備計画、ごみ処理広域化事業

環境保全課・・・まちの美化、環境衛生等、野生鳥獣の保護捕獲等、公害防止等

クリーンセンター...ごみの収集、処理等

笛田リサイクルセンター...廃棄物再利用の啓発・推進、資源物の処理等

まちづくり政策部 ——— 都市計画課・・・都市計画、都市マスタープラン

景観部 ——— 都市景観課・・・都市景観、風致等

みどり課・・・緑政、緑保全、緑化啓発等

公園海浜課・・・公園・緑地等の整備、管理、広町・台峰の緑地保全方針に基づき具体化計画の策定、海浜業務等

都市整備部 ——— 道水路管理課・・・市道路・市道路の附属物・公共下水道・準用河川・水路・雨水調整池等の管理等

交通政策課・・・交通計画、公共交通等

建築住宅課・・・市営住宅の管理運営等

下水道課・・・公共下水道の普及促進等

作業センタ・・・道路及び広場の清掃、緑地等の維持補修作業等

浄化センター...下水道終末処理場の運転維持管理等

拠点整備部 ——— 大船駅周辺整備課・・・大船駅周辺地域総合整備構想に関する企画及び調整

教育総務部 ——— 教育指導課・・・学務、学校教育の指導等

教育センター...教育に関する調査研究、情報収集、相談等

生涯学習部 ——— 生涯学習課・・・生涯学習に関する事業等

スポーツ課・・・スポーツ事業、体育館に関する事業等

中央図書館...資料の収集・整理・保管、図書等の貸出し等

文化財課・・・文化財の保護等

* は特命担当